

病害虫防除技術情報第 15 号

令和 7 年 10 月 17 日
三重県病害虫防除所

**トマトキバガが増加しています。
ほ場を観察して初期防除に努めましょう。**

- 1 対象作物：トマト、ナス科植物、マメ科植物
- 2 対象病害虫名：トマトキバガ
- 3 発生状況と気象の状況
 - (1) 県予察ほ(松阪市嬉野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数(9月第4半旬から10月第3半旬)は35頭であり、過去3年の9月第4半旬から10月第3半旬(平均6頭)と比較して多く推移しています。
 - (2) 1か月予報(10月16日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、チョウ目害虫の発生に好適な条件が続くと予想されます。
 - (3) 令和7年度に入ってから、中勢地区のトマト栽培ハウス内で被害が発生しています。



図1

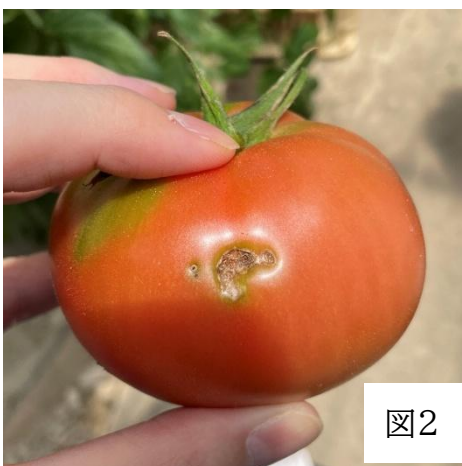


図2

図1:葉の食害の様子
図2:実の食害の様子



図3

図3:トマトキバガ成虫(上)
トマトキバガ幼虫(下)

4 防除の注意事項

- (1) 施設栽培では、開口部に防虫ネット等(目合1.0mm 以下、推奨 0.4mm)を設置し、侵入を防止してください。ネット等に破れやすき間などがあれば速やかに補修してください。
- (2) 被害の特徴を把握して、初期の被害を見逃さないように注意してください。
(図1、図2)。葉を線的にではなく面的に食害するのが特徴のひとつです。
- (3) 害虫の特徴については、図3及び下記資料をご参照ください。

トマトキバガ注意喚起チラシ：

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001140350.pdf>

トマトキバガの写真：

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001139649.pdf>

- (4) 発生が確認された場合は、被害を拡大させないため、速やかに薬剤散布を行うとともに、被害葉や被害果実はほ場やハウス周辺に放置せず、速やかに土中に深く埋却するか、ビニール袋などに入れて一定期間密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させたうえで、適切に処分してください。
- (5) 害虫の潜伏先になる可能性がありますので、健全なトマトの残渣もハウス周辺に放置しないようにしてください。また、ハウス周辺の除草を徹底してください。
- (6) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (7) 薬剤は葉裏や株全体に散布ムラがないように丁寧に散布してください。
- (8) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

予報発行時のeメール連絡サービス(病虫害情報メール)の登録はこちら→

